

第5次総合計画 中期戦略事業プラン 事務事業評価シート

事業名	公共下水道浸水対策事業			事業番号	16-103
事務事業担当	部名	部長名	課名	課等の長	
	土木部下水道担当	石塚 俊彦	下水道整備課	高梨 和美	

計 画 (Plan)

総合計画体系	安心力	まちづくり目標	2	地域で助け合う安全で安心なまち	
		基本政策	4	災害に強い安全なまちづくり	
		施策展開の方向	7	災害から市民のいのちを守るまちをつくる	
		施策	16	被害を最小限に抑える減災対策の推進	
予算事業名	第2号公共下水道管渠整備事業費 第3号公共下水道管渠整備事業費				
事務区分〔選択〕	<input checked="" type="radio"/> 自治事務 <input type="radio"/> 法定受託事務 (選択してください)→		法令上の位置づけ	実施する規定はない	
事業開始年度	開始年度	平成25年度以前	～	終了年度	—
関連法令等	—				
国・県の計画等	社会資本整備総合交付金		計画期間		
関連個別計画	社会資本総合整備計画(伊勢原市民や来訪者が安全で安心できるまちづくり計画)		計画期間	平成26年度から平成30年度	
実施の背景 (事業を取りまく環境・市民ニーズ)	近年の集中豪雨の多発や都市化の進展に伴い、短時間に大量の雨水が流出し、内水氾濫の被害が増大している。				
目的 (何をどうしたいのか)	集中豪雨時の浸水被害の軽減をめざし、浸水被害が多発している地区において、浸水対策を推進します。				
主な対象 (誰・何を対象に)	内水氾濫の被害が頻繁に発生している2地区(板戸、矢羽根川流域地区)				
事業内容 (手段、手法など)	・浸水被害が発生している2地区(板戸、矢羽根川流域地区)の調査・設計、雨水調整池整備などの浸水軽減対策を進めます。				
事業行程	項目	年度			
		平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	板戸地区(板戸川第1排水区)	対策工法検討	詳細設計	浸水対策工事	
	矢羽根川流域地区(矢羽根排水区)	調整池整備工事	—	—	
目 標	【指標名】	【現状値】	年度		
			平成30年度	令和元年度	令和2年度
	浸水対策整備済み地区数	3地区 (平成29年度)	4地区	4地区	4地区

 事業実施 (Do)

事業実施 (D○)

事業の「取組方針」 (前年度事務事業評価)	板戸地区において、令和3年度から実施する整備工事に向け、準備を進めます。 また、近年の異常気象により、新たに浸水被害が発生していることから、浸水被害箇所を確認し、検討を行います。				
実施方法 〔選択・記入〕	<input checked="" type="checkbox"/> すべて直接実施 <input type="checkbox"/> 左記以外				
	<input type="checkbox"/> 業務委託	<input type="checkbox"/> 指定管理	委託先又は指定管理者		
	<input type="checkbox"/> 補助金		補助先		
	<input type="checkbox"/> その他		具体的内容		
実施結果	項目	年度			
		平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	板戸地区(板戸川第1排水区)	基本設計	詳細設計	工法検討	
	矢羽根川流域地区(矢羽根排水区)	工事实施	工事实施	—	
実施した取組の内容	板戸地区(板戸川第1排水区):工法検討				
目標の達成状況	【指標名】	【現状値】	年度		
			平成30年度	令和元年度	令和2年度
	浸水対策整備済み地区数	3地区 (平成29年度)	3地区	4地区	4地区

コスト	年度		平成30年度 実績				令和元年度 実績				令和2年度 実績				
	事業費合計 (a)			74,537	千円		307,607	千円		0	千円		0	千円	
内訳	国県支出金 ①		10,000	千円		57,250	千円		0	千円		0	千円		
	地方債 ②		50,200	千円		241,600	千円		0	千円		0	千円		
	その他特財 ③		0	千円		0	千円		0	千円		0	千円		
	一般財源 (a)-①-②-③		14,337	千円		8,757	千円		0	千円		0	千円		
国県支出金の内容		—													
その他特財の内容	受益者負担		<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無				前回の改定時期								
	その他														
人件費	正規職員		0.75	人	6,383	千円	0.83	人	7,221	千円	0.04	人	344	千円	
	その他の職員		0	人	0	千円	0	人	0	千円	0	人	0	千円	
	人件費合計 (b)		0.75	人	6,383	千円	0.83	人	7,221	千円	0.04	人	344	千円	
トータルコスト (a)+(b)			80,920	千円		314,828	千円		344	千円		344	千円		
単位当たりコスト	対象数	定義	1地区工事/年				単位	1地区工事/年				単位	1地区工事/年		単位
		対象数	2				地区工事	2				地区工事	1		地区工事
	総事業費 / 対象数		40,460,000	円		157,414,000	円		344,000	円		344,000	円		

評 価 (Check)				
進捗状況 〔選択・記入〕	<input checked="" type="radio"/> 計画どおり (A) <input type="radio"/> 概ね計画どおり (B) <input type="radio"/> 計画どおり進捗せず (C)	A	左記判断理由	板戸地区(板戸第1排水区)の工法検討を進めることが出来ました。
実施水準 〔選択・記入〕	<input type="radio"/> 他市より高い水準で実施 (A) <input type="radio"/> 他市と同水準で実施 (B) <input type="radio"/> 他市より低い水準で実施 (C) <input checked="" type="radio"/> 一律に比較できない事業	—	他都市の事業内容等	各自治体で浸水被害が異なるため、一律に比較できません。
有効性 〔選択・記入〕	<input checked="" type="radio"/> 高い (A) <input type="radio"/> 普通 (B) <input type="radio"/> 低い (C)	A	左記判断理由	市民の安心・安全を確保するための事業であり、目的を達成することで浸水被害の軽減が見込まれる有効性の高い事業です。
効率性 〔選択・記入〕	<input checked="" type="radio"/> 効率的に実施されている (A) <input type="radio"/> 改善の余地がある (B) <input type="radio"/> 抜本的な改善が必要である(C)	A	左記判断理由	浸水被害を軽減し市民の安心・安全を図るため、計画的かつ効率的な工法検討について取組みました。



取組内容の改善 (Action) へ

取組内容の改善 (Action)	
事業推進上の課題	矢羽根川流域地区(矢羽根排水区)の下水道事業認可区域の拡大を進め、社会資本整備総合交付金の採択に向け、情報収集や要望活動等を行うとともに、費用対効果を考慮した整備計画を着実に実行する必要があります。
令和3年度取組方針	板戸第1排水区について整備工事を実施していきます。また、矢羽根川流域地区については、下水道事業認可区域の拡大に向けた基本計画を実施し、計画的な整備計画を策定するとともに社会資本整備総合交付金の採択に向け準備を進めていきます。
所管部長による総評	近年の異常気象による局所的な豪雨や土地利用の変化から、雨水の流出量が増加することにより、浸水被害が拡大する状況にあります。市民の生命・財産を守るため、計画的な浸水被害軽減対策を実施する必要があります。なお、浸水被害の軽減には、被害箇所状況を調査し、その場所に応じた対策が必要であるため、十分に検討し、速やかに対策を進める必要があります。